

# 8. 早期教育の必要性

## これまでの幼児教育の誤り

一般に早期教育というと、これまでは「子どもに言葉がでるようになってからのこと」と考えられていましたが、これは大きな間違いだったと言えます。というのもまったく無能力で教育とは無関係と思われていた胎児・新生児が、じつは素晴らしい能力を備えていることが明らかになってきたからです。ですから、幼児教育についても、そのあり方、スタートの時期、方法など、全ての面で見直す必要に迫られているのです。これは教育全体に対する大きな見直しを意味するものと言ってよいでしょう。

### 過去 (30年以上前)

#### フロイトの誤り

ジークムント・フロイト  
心理学の大御所

「赤ちゃんは生後2ヶ月半～3ヶ月は笑わない」  
「子どものころは2～3年たたないと発生しない」

#### ホワイト博士の誤り

バートン・ホワイト博士  
ハーバード児童発達研究センター教授

「赤ちゃんは生後2ヶ月までは眠っているか、泣いているか、乳を飲んでいるかのいずれかで、その間の能力や知能を研究するのはムダなことだ。」

#### 多くの学者の常識

「赤ちゃんは心理的に未分化の有機体で意識も知覚もなく、心理的機能はまるで持っていない。」

### 20～10年ほど前

#### 鈴木鎮一先生

バイオリンの鈴木メソッド

「音楽は感性を磨くこと。早期教育は重要です。」  
☆3才児がメヌエットを弾く

#### 石井勲先生

漢字教育の開祖

「漢字は幼稚園から始めるべきです。」

#### 室岡一先生

日本医科大学教授

「赤ちゃんはお母さんの子宮の中で外の音をちゃんと聞いているのです。」

#### アルフレッド・トマティス

フランスの言語学者

「胎児は母親の言葉を聞いて育つ、その言葉は空気振動音としてではなく身体的反響音として聞く。」

### 現在

#### 脳の研究が進んでわかった現在の常識

- ★赤ちゃんは天才である
- ★胎児の可能性は無限である
- ★胎教の重要性
- ★脳は遺伝ではなく環境
- ★早期教育にはめざましい効果がある
- ★早期教育を行うことで天才の出現する可能性が高くなる
- ★脳の成長期にタイミングよく情報を与えることが重要
- ★右脳開発の重要性
- ★右脳の潜在能力に働きかけることで、高速で大量のインプットができる
- ☆お母さんにも意識改革が必要

●ご予約・お問い合わせは… 052-452-6667

オーイーナ・エイコ!

☎0120-017-815

新校舎・中村区太閤通3-32-5 アメリカンスクールビル

**American School**  
アメリカンスクール